持続可能な開発目標（SDGs）に関する自発的国家レビュー報告書

令和7（2025）年6月
内閣官房
外務省

1　自発的国家レビュー（VNR）

- 国連加盟国は自国のSDGs達成状況を定期的に報告する。我が国は、**本年3回目の報告**を実施。**6月に報告書を国連に提出し、7月に国連本部で発表**する。
- 国連の指針に従い、SDGs推進円卓会議等、産官学民からの有識者や市民社会が報告書作成に積極的に関与。3月19日から4月18日にかけて、報告書のパブリックコメントを実施。

2　今回のVNR報告書の特色

- 今後のポストSDGsの議論も念頭に、**少子高齢化、地方のSDGs推進、防災等**、国際社会のモデルとなる日本の挑戦・取組に焦点。
- **大阪・関西万博、GREEN×EXPO 2027、少子高齢化、官民連携、若者、地方、防災・国土強靱化**といった分野横断的な取組を、コラムにて紹介。
- 我が国のSDGs達成に向けた取組・進捗を、できる限り**統計等のデータ・エビデンスを用いて客観的な評価**に取り組んだ。
- SDGs推進円卓会議を中心とする有識者・市民社会・ユースの積極的関与。国際社会の持続可能性に関する有識者懇談会の報告も踏まえ作成。我が国のSDGsの取組・進捗について、省庁の評価に加え、**有識者・市民社会、ビジネス、議会、ユース等による独立の評価（第6章）**を設けたほか、様々な取組のつながりを意識した記載とした。

3　自発的国家レビュー（VNR）報告書

（1）巻頭メッセージ（石破総理大臣・SDGs推進本部長）

- 日本は、2030年の実現を目指して**ぶれることなくSDGs達成に向けた取組を推進。少子高齢化や労働人口の減少、防災、地方創生といった課題**に取り組んでいく。
- **「楽しい日本」**を目指す。すべての人が安心・安全を感じ、多様な価値観を持つ人々が互いに尊重し合い、自己実現を図る活力にあふれる社会を実現する。**政府、市民社会、ビジネス、学識経験者、議会、こども・若者など、多様なステークホルダーと協力**していく。
- **大阪・関西万博**等の機会を通じ、**日本のSDGsやウェルビーングに関する知見・経験を共有**し、国際社会に連帯と協力を促していく。日本が国連の場で進めてきた**人間の安全保障**と**法の支配**という2つの理念が一層重要。

3 自発的国家レビュー（VNR）報告書（続）

（2）SDGs進捗の全体的な評価

- 日本の強みは、**SDGsが社会全体に幅広く浸透し、多様な関係者がそれぞれの立場から積極的にSDGsに関与していること**。日本は国を挙げてSDGs達成に向けた取組を推進。
- 目標3（健康・福祉）、目標8（経済成長と雇用）、目標9（インフラ・産業イノベーション）、目標13（気候変動）等で進展。一方、目標5（ジェンダー）、目標10（不平等）等では課題も確認される。

（3）重点事項別の取組・課題

- **持続可能な経済・社会システムの構築**（イノベーション、サステナブルファイナンス、新しい資本主義・高水準の賃上げ実現等）
- **「誰一人取り残さない」包摂社会の実現**（少子高齢化への対応、こども家庭庁設立、東京2020大会開催を契機とするバリアフリー法改正、女性活躍・男女共同参画、あらゆる暴力の排除等）
- **地球規模の主要課題への取組強化**（温室効果ガスの排出削減、地球温暖化対策計画の改定、第7次エネルギー基本計画、生物多様性国家戦略の策定、防災・国土強靭化の推進、UHC推進等）
- **国際社会との連携・協働**（人間の安全保障に基づく政府開発援助、ODA等を通じた民間資金動員の促進等）
- **平和の持続と持続可能な開発の一体的な推進**（女性・平和・安全保障（WPS）の推進等）

（4）日本のSDGs：今後の方向性

- ***社会課題解決を成長のエンジンに転換させる取組を一層進める***。エネルギー安定供給、経済成長、脱炭素の同時実現。循環型で強靭な経済・社会システムの構築を加速。AIを含む様々な分野でのイノベーションを活用し、持続的な成長を実現。
- ***誰一人取り残さない理念、その実現に誰もが貢献する***。人口減少と少子高齢化は一人一人を大切にする社会を作っていくための追い風にもなり得る。多様な個人が、人とのつながり、協調及び　助け合いを進めることは、ウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に幸せな状態）の向上にもつながる。日本は国を挙げてSDGs達成のために取り組む。
- ***課題先進国（少子高齢化、地方創生、防災等）として、日本の取組・知見をモデルとして示し、課題解決に向けた途上国との共創を推進する。***
- ***人間の尊厳・人間の安全保障の推進***。未来サミットを歓迎し、その実施に貢献する。***WPSの推進***。
- ***2030年以降の国際的な持続可能性に関する議論・ルール形成に主導的な役割を果たす***。